

八代教頭会だより

3月28日 第9回運営委員会
・次年度の組織づくり

八代市立宮地小学校
久保 郁夫

- 1 はじめに
本年度の八代教頭会の会員数は、小学校が27名（複数配置1校）、中学校が17名、特別支援学校が1名の45名である。
- 2 組織（運営委員）

会長	久保 郁夫	(宮地小)
副会長	坂本 太郎	(第八中)
副部長	戸田 誠之	(竜北東小)
〃	一司 和穂	(第三中)
事務局	野添 雄一	(宮原小)
〃	坂梨 且典	(第五中)
会計	桑原 理子	(八千把小)
〃	緒方 彰	(千丁中)
研修部長	田口 広治	(太田郷小)
〃	矢鉾清一郎	(第七中)
- 3 活動
 - 4月22日 第1回研修会
・研究組織づくり
 - 4月27日 第1回運営委員会
 - 5月6日 第2回運営委員会
 - 5月10日 第2回研修会（オンライン）
・組織、年間計画確認
・研究の方向性について
 - 5月26日 第3回運営委員会（オンライン）
 - 6月17日 第3回研修会
・講話 「教育雑観」
太田篤洋 氷川町教育長
・県大会発表に向けて
 - 6月24日 第4回運営委員会
 - 7月8日 八代新任教頭研修会
 - 8月3日・4日
全国公立学校教頭会研究大会兼九州公立
学校教頭会研究大会佐賀大会
(オンライン)
 - 8月17日
熊本県公立学校教頭会研究大会
(オンライン)
 - 9月16日 第5回運営委員会
- 10月25日 第4回研修会
・人事管理研修 県人事課
- 12月14日 第6回運営委員会
- 12月20日 八代新任教頭研修会
- 1月24日 第7回運営委員会（オンライン）
- 1月31日 第8回運営委員会（オンライン）
- 2月15日 第5回研修会
・県大会発表に向けて

4 まとめ

(1) 研究の成果

本年度は、「『チーム学校』として一人一人のよさを生かし合う学校づくりへの教頭の関わり」をテーマに研究を進めてきた。八代地区では、小中一貫・連携教育やコミュニティスクールの取組によって、児童生徒の豊かな人間性の育成や健康体力の増進、学力向上に向けて日々の実践を重ねている。その中で学校に求められる役割は大きく、「チームとしての学校」のあり方が問われている。そこで、教頭としてどのような役割を果たし、「チーム学校」を機能させていくかについて研究を進めてきた。研修では、学校規模は違うが、それぞれの実践を出し合いながら、教頭としての関わりについて協議をすることができた。県大会発表後も情報交換や研修会での協議を行い、研究を深めているところである。

(2) その他の研修

教育講演会では、氷川町の太田篤洋教育長より「教育雑観」を演題とし、ご講話をいただいた。ご自身の経験から管理職としてのあるべき姿や心構え、そして子どもたちや教職員、保護者との関わりから管理職としてのやりがいをお伝えいただき、参加者一同、大きな意欲と勇気をもつことができた。

人事管理研修では、人事課より喫緊の課題について説明していただいた。また、演習では、今後、直面するような具体的事項について考える場を設けていただき課題解決の一助となった。

コロナ禍で中止にするか迷った研修もオンラインで実施したところ、好評で新たな研修の形として工夫を重ねていけばより効果的なものになるのではないかと感じた。新任教頭研修会も予定通り開催することができ、年度始めは不安もあったが、本教頭会としては充実した一年間であった。

5 おわりに

本年度は、コロナ禍の状況ではあったが、オンラインを有効活用し、会議や研修を可能な限り行い、教頭間の連携を深め、資質向上を図ってきた。今後もさらに八代地域の児童生徒の健全育成及び教職員の人材育成を目指して、教頭一人一人の自覚を高める研修を進めていきたい。